

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第8期第5回相模原市中央区区民会議（グループB）		
事務局 (担当課)		中央区役所区政策課 電話042-769-9802（直通）		
開催日時		令和7年10月29日（水） 9時45分～11時30分		
開催場所		相模原市立産業会館 4階 特別会議室		
出席者	委 員	6人（別紙のとおり）		
	その他	0人		
	事務局	2人（区政策課職員）		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;">開 会</div> <div style="margin-bottom: 10px;"> 1 議題 （1）中央区基本計画の取組状況の検証について ○グループB <ul style="list-style-type: none"> ・取組目標Ⅲ：安全・安心をみんなで創っている ⇒【防災】【交通安全、防犯、空き家】 ・取組目標Ⅳ：魅力と活力にあふれ、にぎわっている ⇒【商業、観光、農業】、【基地返還、拠点形成、道路、交通】、 【文化、スポーツ、国際化】 </div> <div style="text-align: center;">閉 会</div>		

主な内容は次のとおり。

開 会

事務局から、運営に係る事務説明を行った。

—傍聴希望者 なし—

1 議題

中央区基本計画の取組状況の検証について

事務局よりグループワーク参考資料を配布、説明し、グループワークを行った。

主な意見等は以下のとおり。

■取組の方向Ⅳ－１ ①「商業振興によるにぎわいづくり」

(中村委員)

商工会議所は、商店街と連携してイベント等を実施している。今後も相模原市商店街の活性化に関する条例に基づき、各地域の商店街と連携して様々な取組を行っていきたいと考える。

また、商工会議所が市に要望を出している案件でもあるが、商店街が減っていることに伴い、街路灯の維持が厳しくなっている状況にある。撤去に関する費用助成の要望を出してはいるが、中長期的に考えると自治会が所有する防犯灯への移行なども含めて検討するなど、地域全体で考えないと、まちの安全安心が守れないのではないかと思う。

(入谷委員)

駅前商店街においても、組合の会員数がどんどん減っており、街路灯の電気代負担や老朽化への対応などを課題としている。

(小林委員)

最近の商店街は、八百屋や肉屋など日常に必要な食料品を買える店が少なくなっている。また、若い世代の利用がほとんどない状況である。

(中村委員)

商店街の加盟店は、整体や塾などサービス系に多く移行している印象にある。

(入谷委員)

一例だが、左利きの方をターゲットにした商品展開をしている文房具屋があり、ニッチな需要を生み出している。こうした取組により新たな市場を開拓するなど、イノベーションを起こす必要があると考える。

(藤澤委員)

最近では、オンラインショッピングの機会が増えているように思える。特に、共働きの子育て世帯は、日用品においてもリアルな店舗よりオンラインでの購入が多い。

■取組の方向Ⅳ－１ ②「観光資源などを活用した魅力の発信」

(小林委員)

上溝には上溝さくら公園という全国的にも珍しい３９種の桜を植栽している公園がある。１２月１３日からはイルミネーションを実施する予定であり、貴重な観光資源である。また、ホテルが鑑賞できる道保川公園や、神奈川県北部最大級の夏祭りである上溝夏まつりがある。

(中村委員)

淵野辺にはJAXA相模原キャンパスや、市立博物館がある。市立博物館はプラネタリウムがリニ

ユーアルとなり、最近はポケモンとのコラボもあり人気である。また、淵野辺駅前商店街もJAXAとのコラボイベントなどでだいぶ賑わっている印象にある。田名には、相模川ふれあい科学館があり、市外からも人が集まっている。

(藤澤委員)

史跡田名向原遺跡公園では、展示の竪穴住居などが老朽化している。貴重な観光資源であるため、再生するなど大切にすることが必要である。

(小林委員)

市立博物館のプラネタリウムについては、10億個の星々と8K全天周映像を同時に体験できるものは世界初と聞く。もっとPRすべきだと考える。

(事務局)

こうした魅力を知ってもらうためには、認知度を上げる必要もあると思う。知ってもらわなければ魅力も伝わらない。今後も積極的に情報発信する必要がある。

■取組の方向Ⅳ－１ ③「農業を身近に感じられるまちづくり」

(藤澤委員)

以前は、市内にある農園で幼稚園の児童などが芋掘りをしている光景をよく見たが、今はそういう機会が減り、自然な土に触れ合う機会が少なくなっていると感じる。

一方、最近のスーパーマーケットなどでは、市内生産者による野菜である旨を表記して、野菜を販売しているコーナーなどを設けており、非常に良い取組だと感じる。学校給食などにおいても相模原産の食材を使用している場合は、積極的に紹介するような取組を行うことが必要であるかと思う。

また、農業まつりや市役所前などで友好都市の特産品を売っているのを目にするが、こうした取組は友好都市への理解も促進されるため、推進すべきである。

(中村委員)

商工会議所では地産地消を推進しており、市内農家と、商工会議所の会員である三和やイオン、イトーヨーカドーなどをつなげるといった取組を農商連携の一環で行っている。

■取組の方向Ⅳ－２ ①「相模総合補給廠の早期返還」

(入谷委員)

小山地区ではヘリコプターの騒音に悩まされている方が多い。日中に加え、夜10時以降も飛んでいることがある。最近ではジェット機より、ヘリコプターの訓練が多く行われている印象にある。

10月27日には、市米軍基地返還促進等市民協議会として、市長とともに外務省と防衛省に要請活動を行ったところである。すぐ解決する問題ではないが、継続して声を上げなければならない取組だと思う。

また、要請するにあたり、より正確なエビデンスを取るために騒音計の移設なども検討を行っている。

■取組の方向Ⅳ－２ ②「相模原駅周辺地区におけるにぎわいの拠点づくり」

(小林委員)

今後のまちづくりを考えるにあたっては、小田急多摩線延伸の状況が進展しないこともあり、Zipparなど新しい交通手段の検討も必要である。

(入谷委員)

最近は自動運転の技術も進んでいる。自動運転が進めば、最近のバスの運転手不足という課題にも対応できるように思う。

■取組の方向Ⅳ－２ ③「道路環境の向上」

(小林委員)

宮上横山線が開通し利便性の向上が見込まれたが、実際はＪＲ横浜線と交差する小原踏切で渋滞が悪化している。立体交差化を進めないと現実的な効果が出ないのではないと思う。

■取組の方向Ⅳ－２ ④「地域公共交通網の構築」

(藤澤委員)

相模原市内は神奈川中央交通が主に路線バスを運行しているが、市営の路線バスがあってもいいと思う。最近、バス路線の撤退が進んでおり、高齢者の移動手段が厳しい状況である。乗合タクシーは費用が高いため、市営バスなどの運行により現在の運賃を維持できるような仕組みにすれば、高齢者の免許返納にもつながるのではないと思う。

(入谷委員)

小山地区において、１日１便２系統で小型バスを利用した相模原駅までの移動手段の実証実験を行う予定である。実施にあたっては２か所の介護施設に協力していただく。需要などにもよるが、今後本格展開する場合には会員制の検討や、補助金を受けるための受け皿を作らなければならない。

(小林委員)

地域の移動支援の取組にあたっての課題はやはり運転手である。バス会社も運転手不足で常に募集している状況にある。

■取組の方向Ⅳ－３ ①「文化が薫り、誇りを持てるまちづくり」

(入谷委員)

小山公民館で落語の講演が定期的に行われている。

(藤澤委員)

先日、田名中学校の吹奏楽部がコンクールで金賞を獲得したので、記念して市民会館で演奏してもらいなどの取組があっても良い。

■取組の方向Ⅳ－３ ②「スポーツを楽しめる環境づくり」

(藤澤委員)

箱根駅伝で青山学院大学が優勝した際には淵野辺駅前でパレードを行っているが、市役所前通りでも行えばいいと思う。パレードには市外からも参観者がきており、注目度も高いため、ぜひ市のメインである市役所前通りで行ってほしい。

(中村委員)

現実的には警察の許可を取るのが難しい部分もあると思う。淵野辺駅前で実施した際も、淵野辺の商店街だけでは対応が難しく、他地区商店街やボランティアの応援によりなんとか実施したという経過がある。

(藤澤委員)

以前、町田市役所に行った際に、市職員がF C町田ゼルビアのユニフォームを着ていた。市役所外に移動する際にも着用しており、市として応援しているという姿勢を見せるためにも効果的な取組であると思う。

■取組の方向Ⅳ－３ ③「多文化共生の推進」

(入谷委員)

10月26日の星が丘地区のふるさとまつりではカンボジア関係の出展があり、民族衣装を着ている方が3～4人いた。

また、小山地区のふるさとまつりには、米軍基地の方がお手伝いに来てくれている。また、2月には「英語で遊ぼう」という企画を行っており、米軍基地の方がボランティアで参加し、地域の子供たちとバレンタインのカードを作るというイベントを行っている。こうした取組により、異文化への理解を深めることの大事さが伝わればと思う。

(中村委員)

最近、人材不足に対応するために経営者向けの外国人活用セミナーを行っており、大変好評である。特に建設業などの現場において人手不足が懸念される。

(藤澤委員)

今年の上溝のだるま供養のお焚き上げの際には外国人客が多かった印象がある。話を聞いてみると、観光を目的に実施しているお祭りより、地域に根付いているお祭りを見るのが楽しいという話だった。インターネットで検索すると英語で様々なお祭りを紹介しているページもある。上溝夏祭りの神輿揉みもそうだが、地域に根付いた風習や伝統などに興味を持っている外国人の方が多い印象にある。

(田加井委員)

淵野辺にある鹿沼公園に、ラジオ体操をするために朝通っているが、公園内で中国出身の方が太極拳をやっている光景をよく見る。会話をすることもあり、身近な公園などにも交流を深める場がある。

閉 会

以 上

第8期第5回相模原市中央区区民会議（グループB） 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	入 谷 利 郎	小山地区まちづくり会議		出席
2	桑水流良光	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
3	小 林 充 明	上溝地区まちづくり会議		出席
4	鈴 木 泰 信	中央地区まちづくり会議		欠席
5	田加井政勇	相模原交通安全協会		出席
6	中 村 太 郎	相模原商工会議所		出席
7	水 谷 好 男	公益社団法人相模原市観光協会		欠席
8	星 清 次	相模原市公民館連絡協議会		欠席
9	藤 澤 佳 代	公募委員		出席